

平成 19 年 5 月 21 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 雅之

(コード番号：8981)

投資信託委託業者名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2007 年 4 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2007 年 4 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

項目/年月	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	73.7%	16,201	11,938	578
オリエンタルホテル 東京ベイ	61.1%	21,681	13,247	476
なんばオリエンタルホテル	92.3%	10,548	9,738	166
ホテル日航アリビラ	74.7%	23,949	17,881	422

2007 年 4 月売上に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

今年 1 月中旬から 3 月初旬にかけて改装を行った 10 階及び 11 階客室のリニューアルオープン効果による高単価での客室販売により、宿泊部門の売上げは前年同月を上回る結果となりました。またレストラン部門においても、各レストランの好調なランチ営業等の影響により、前年同月を上回る売上となりました。婚礼部門も先月に引続き、前年同月を上回る実施件数と高単価での販売が成功し、前年同月を上回る売上となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門においては、今年 1 月初旬から 3 月初旬にかけて改装を行った 7 階及び 8 階客のリニューアルオープン効果により、高単価での販売が可能となった事で、高い ADR 水準を確保出来ました。しかしながら、競合ホテルの価格政策等の影響もあり、稼働率が前年同月を下回り、結果として前年同月を下回る売上となりました。

レストラン部門においても、稼働率低下による宿泊者減少の影響などにより全年同月を下回る売上となりました。宴会部門においては、一般宴会の売上が伸び悩んだことにより、売上が対前年を下回る結果となりました。

なんばオリエンタルホテルについて

大阪市内の主要ホテルにおける稼働率は、先月と同様、前年同月と比較し若干上昇する結果で推移しました。当ホテルにおいては、インターネットを通じたウェブ予約、エージェントを通しての予約共に前年同月を上回り、稼働率・ADR共に上昇させる事が出来ました。

ホテル日航アリビラについて

2007年4月の航空会社輸送実績は、510,705人（JAL、ANA、SKY 合計）と前年同月比 104.2%と引き続き好調に推移しました。

宿泊部門においては、各エージェントが企画するパッケージ・ツアーのアリビラにおける宿泊商品の差別化を支援することにより、高単価での販売が可能となった結果、前年同月で大幅なADR上昇を達成し、宿泊売上も前年同月を大幅に上回る結果となりました。

-
- 注1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>